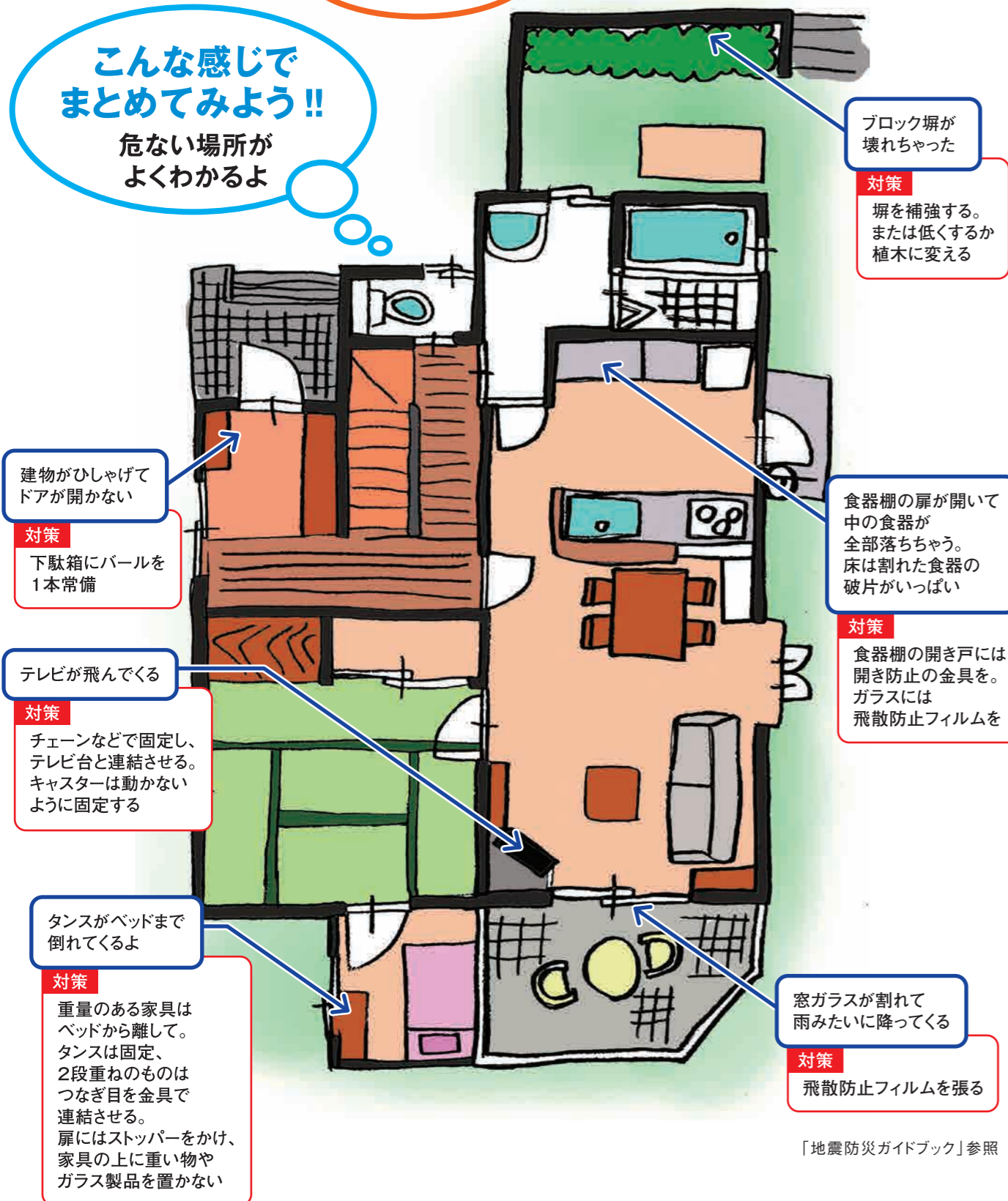


DIGをしてみると、よくわかる

地震が起きた時、わが家のここが危険!

ウチ
家の耐震性は
大丈夫?

こんな感じで
まとめてみよう!!
危ない場所が
よくわかるよ



ブロック塀が
壊れちゃった
対策
塀を補強する。
または低くするか
植木に変える

食器棚の扉が開いて
中の食器が
全部落ちちゃう。
床は割れた食器の
破片がいっぱい
対策
食器棚の開き戸には
開き防止の金具を。
ガラスには
飛散防止フィルムを

窓ガラスが割れて
雨みたいに降ってくる
対策
飛散防止フィルムを張る

「地震防災ガイドブック」参照

CHECK

左のステップで
わが家の危険度を
チェックしてみよう!

STEP 1 平面図を描く
自宅の平面図を描いてみよう。

STEP 2 危険な場所を探す
下に書いてある危険か所を参考に、
自宅の危険な場所をチェックしてみよう。

STEP 3 元栓等の位置を確認
電気のブレーカー、ガスの元栓や
マイコンメーターの場所を確認しよう。

STEP 4 避難経路の確認
地震発生後の家の中は倒れた家具や割れた
ガラスなどで屋外に出るのは至難の業です。
普段過ごす部屋から屋外への避難経路を
考えてみましょう。

STEP 5 被災後の生活を考える
地震発生後もわが家で生活するため、
次のことを考えておきましょう。
☆どの部屋で生活するか?
☆食料、飲料水はどうするか?
☆トイレの問題は?
☆寒さ対策は?

過去の災害では、停電回復後の通電火災が多数発生して
います。災害発生後、避難する場合は必ずブレーカーを落
してから避難しましょう。ガスの元栓も忘れずに。

家の中や周辺の危険か所

- **リビング・ダイニング**
テレビが飛んでくる
本棚が転倒して、中の本が全部飛び出す
ピアノが部屋の中を走り回る
窓が割れて部屋の中に破片が散乱する
掛時計が落ちてガラスの部分が割れる
照明が落ちて蛍光灯が割れる
- **キッチン**
食器棚の扉が開いて中の食器が落ち、
床に割れた食器が散乱する
冷蔵庫が転倒して、中の物が散乱する
電子レンジが飛んでくる
- **寝室**
タンスやドレッサーなどの家具が転倒する
- **子ども部屋**
学習机の上の本棚が倒れる
本棚が転倒して中の本が全部飛び出す
キャスター付家具が部屋の中を走り回る
- **屋外**
ブロック塀が倒れて粉々になる
物置が転倒する
- **集合住宅の共用部分**
エレベーターが停止する

DIG ディグ 「DIG」って何??

「DIG」とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、Disaster Imagination Gameの頭文字をとって「DIG(ディグ)」と名付けられました。英語の動詞「dig」には、「掘り起こす、探究する、理解する」といった意味があります。「DIG」という名称には「防災意識を掘り起こそう」「地域を探究しよう」「災害を理解しよう」といった、この訓練のねらいが込められています。

体験しながら地震について学ぼう! 静岡県地震防災センター

静岡県地震防災センターは、多くの人に巨大地震に立ち向かうための知識や技術、防災意識を身に付けてもらおうと設立されました。管内は「行動するエリア」、「知るエリア」、「備えるエリア」と3つに分類。地震発生時の室内の映像を視聴しながら揺れを体験できる「地震ザブトン」や、家庭用消火器での消火方法を学べる消火体験コーナー、津波について学べるTSUNAMIシアターなど、大人も子どもも体験しながら楽しく学べる施設です。



開館時間/9時00分~16時00分
休館日/月曜日・年末年始
入館料/無料
〒420-0042
静岡市葵区駒形通5丁目9番1号
電話番号:054-251-7100
FAX番号:054-251-7300
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/index.html>

